

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	雇用対策事業						担当部	市民産業部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	商工労政係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		4 雇用対策・勤労者福祉を充実する					
		副目的										
	予算区分	款	5	項	1	目	1	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
		<input type="radio"/>	指定管理・外郭団体			名称:小牧市雇用対策協議会、労働局(ハローワーク)						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどのような状態にするのか)	勤労者に対して雇用の安定と福祉の向上を図る。 求職者・求人者に対して就業の促進を図る。											
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所に就職した卒卒者を対象に、新卒就職者激励会を実施する。(小牧市雇用対策協議会への委託事業) ・公共職業安定所の協力施設として小牧市職業支援室を開設・運営し、職業相談、就職情報提供を行ってきたが、平成21年7月からはふるさとハローワークを開設し、求人情報の提供、職業相談等を行う。 ・職員は、雇用対策協議会の事務局として行事の企画運営、実施を行うとともに、県や国(労働局)が実施するセミナー等の周知、ふるさとハローワーク開設にともなう改装工事や必要備品の発注を行い、施設の開・施錠を行う。また臨時職員がふるさとハローワークの受付等事務を行っている。 ・新卒就職者激励会 646,969円 ・ふるさとハローワーク経費 2,536,624円 											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,719	3,267	5,580	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	536	536	536
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	1,708	1,457	1,705
		費用合計	千円	4,963	5,260	7,821	
	対前年比	%		105.9			
財源	一般財源	千円	4,963	5,260	7,821		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23		
		求人・求職相談件数	件	目標		3,000	25,000	25,000	
				実績		19,993	23,634		
		新卒就職者激励会参加者人数	人	目標		250	250	250	
				実績		263	212		
			目標						
			実績						
	績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
			求人・求職相談件数	件	目標		3,000	25,000	25,000
					実績		19,993	23,634	
新卒就職者激励会参加者人数			人	目標		250	250	250	
				実績		263	212		

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 現在の雇用情勢を反映し、求職者は減る気配がなく、求人・求職相談の件数は、ほぼ目標を達し、多くの相談に対応することができた。 新卒就職者激励会参加者人数については、目標に達しなかった。 				
	事業を廃止・休止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとハローワークには、ほぼ毎日100名が来所しているため、廃止すると求職者は大きな影響を受ける。 新卒就職者激励会は、かつて地方から小牧へ就職してきた若者を激励し、小牧を知ってもらうために始まった事業であった。企業の採用状況により参加者数の変動はあるが、毎年200名を超える参加者があるので、内容の充実を図りつつ継続していく。 				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> 業績において、ほぼ目標値を達成しているため、引続き事業を継続していく。 平成23年度に、新卒就職者激励会で毎年実施していた記念植樹を廃止するなど内容の見直しを行った。今後も内容の見直しを図りつつ継続して実施する。 				
今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	<ul style="list-style-type: none"> 現在の厳しい経済情勢が続く場合は、引き続き事業を継続していく。 今後経済情勢が好転し、求職者が減少した際には、労働局からふるさとハローワークの廃止を求められる事が考えられる。 					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	一次評価のとおり			